SAE 660 (鋳造りん青銅 軸受用)

SAE 660 (鋳造りん青銅 軸受用)とは、銅合金に分類される金属の材料です。鋳造軸受の標準材料。

SAE 660 • UNS C93200

最終更新：2026/10/30

8.93 g/cm³	240 MPa	65 HB
比重（密度）	引張強さ	硬さ

C1100・C1020・C5191との違い

材料名を押すと、その材料のページに移動します。

	SAE 660 (鋳造りん青銅 軸受用) このページ	C1100 (タフピッチ銅)	C1020 (無酸素銅)	C5191 (りん青銅)
引張強さ	240 MPa	220 MPa	210 MPa	540 MPa
降伏強さ	125 MPa	70 MPa	60 MPa	490 MPa
硬さ	65 HB	—	—	—
線膨張係数	—	17.7 µm/m·K	17 µm/m·K	18 µm/m·K
熱伝導率	—	391 W/m·K	398 W/m·K	85 W/m·K
密度	8.93 g/cm³	8.94 g/cm³	8.94 g/cm³	8.8 g/cm³
溶接性	—	良い	非常に良い	良い
被削性	—	20 /100	20 /100	30 /100

「—」は材料データベースに値が載っていない項目です。

特徴と用途

材料としての特徴

- 鋳造軸受の標準材料
- 高Pb含有で自己潤滑性
- 優れたなじみ性

- 異物埋収性が良好
- シャフトを傷めにくい

主な用途

- すべり軸受・ブッシュ
- ウォームギア
- ポンプ軸受
- 圧延機軸受
- 産業機械軸受全般

選び方

低〜中速度・中荷重のすべり軸受に。最も汎用的な軸受青銅。

メリット

- 自己潤滑
- なじみ性
- 異物埋収
- 低コスト

デメリット

- Pb含有（RoHS非対応）
- 高速回転不向き

一般的な特性に基づく参考情報です。実際の性能は製造条件・使用環境により異なる場合があります。

物性値

公的規格・技術資料をもとにした参考値です。

規格

SAE	660
UNS	C93200

物理的性質

密度	8.93 g/cm³

加工・規制・注意

規制適合

RoHS	非適合
REACH	適合

出典・ご利用上の注意

- 2025-12-07

作成者：ものづくりのためのお役立ち情報編集チーム（株式会社メイカーズ）
監修：株式会社メイカーズ　商品開発戦略グループ
作成：2026/10/30
最終更新：2026/10/30

本ページの物性値・特性情報は、JIS・ISO・ASTM等の公的規格およびメーカー技術資料を参照した参考情報です。実際の材料選定・使用にあたっては、必ず材料メーカーの公式データシートをご確認の上、専門家にご相談ください。 本データベースは、設計・開発段階での材料比較・選定にお役立ていただけるよう、幅広い材料の物性情報を掲載しています。図面加工のご依頼やおすすめ材料のご提案は、お気軽に お問い合わせ ください。

※ 本ページに記載の商標は各社の登録商標または商標です。Inconel®, Monel®は Special Metals Corporation、Hastelloy®は Haynes International, Inc.、Vespel®, Kapton®, Kalrez®, Kevlar®は DuPont、Delrin®は TJC、Teflon™, Viton™は The Chemours Company、ジュラコン®は ポリプラスチックス株式会社、MCナイロン®は 三菱ケミカルアドバンスドマテリアルズ株式会社の商標です。

図面加工のご依頼やおすすめ材料のご提案は、お問い合わせください。

よくある質問

SAE 660 (鋳造りん青銅 軸受用)の密度（比重）は？

SAE 660 (鋳造りん青銅 軸受用)の密度（比重）は8.93 g/cm³です。

SAE 660 (鋳造りん青銅 軸受用)の引張強さは？

SAE 660 (鋳造りん青銅 軸受用)の引張強さは240 MPaです。

SAE 660 (鋳造りん青銅 軸受用)の降伏強さは？

SAE 660 (鋳造りん青銅 軸受用)の降伏強さは125 MPaです。

SAE 660 (鋳造りん青銅 軸受用)の硬さは？

SAE 660 (鋳造りん青銅 軸受用)の硬さは65 HBです。

SAE 660 (鋳造りん青銅 軸受用)の主な用途は？

SAE 660 (鋳造りん青銅 軸受用)は、すべり軸受・ブッシュ、ウォームギア、ポンプ軸受などに使われます。